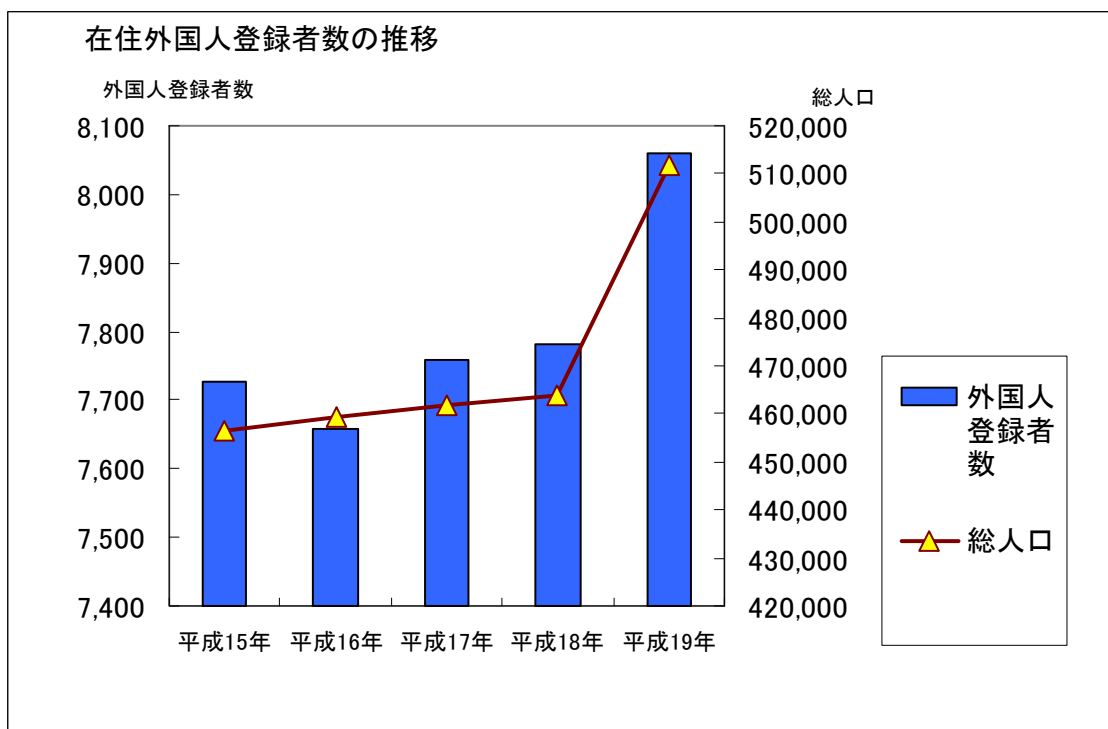


参考資料1 計画策定にかかる基礎データ

(1) 在住外国人登録者数 年度別推移



	平成15年	平成16年	平成17年	平成18年	平成19年
外国人登録者数	7,728	7,658	7,760	7,781	8,061
総人口	456,434	459,372	461,667	463,986	511,873
割合 (%)	1.7	1.7	1.7	1.7	1.6

(2) 国籍別外国人登録者数（上位 10 カ国）

平成20年5月末日現在

国籍別・区分	男	女	合計	世帯数
1 中国	924	1,971	2,895	2,347
2 韓国又は朝鮮	521	771	1,292	910
3 ブラジル	459	430	889	486
4 タイ	194	624	818	679
5 フィリピン	137	642	779	650
6 ペルー	129	142	271	133
7 米国	141	65	206	162
8 ベトナム	36	96	132	107
9 カナダ	46	16	62	60
10 イラン	55	3	58	56

(3) 在留資格別登録者数

平成 20 年 5 月現在

	在留資格	人数	割合
1	永住者	1952	24.1%
2	日本人の配偶者等	1519	18.7%
3	定住者	918	11.3%
4	留学	712	8.8%
5	特別永住者	580	7.2%
6	資格なし	322	4.0%
7	家族滞在	320	3.9%
8	特定活動	240	3.0%
9	研修	238	2.9%
10	短期滞在	232	2.9%
11	人文知識国際業務	206	2.5%
12	興行	162	2.0%
13	技術	141	1.7%
14	就学	120	1.5%
15	企業内転勤	85	1.0%
16	技能	84	1.0%
17	永住者の配偶者等	65	0.8%
18	教育	31	0.4%
19	宗教	22	0.3%
20	投資・経営	17	0.2%
21	教授	11	0.1%
22	文化活動	7	0.1%
23	研究	4	0.0%
24	その他	111	1.4%
	合計	8109	100.0%

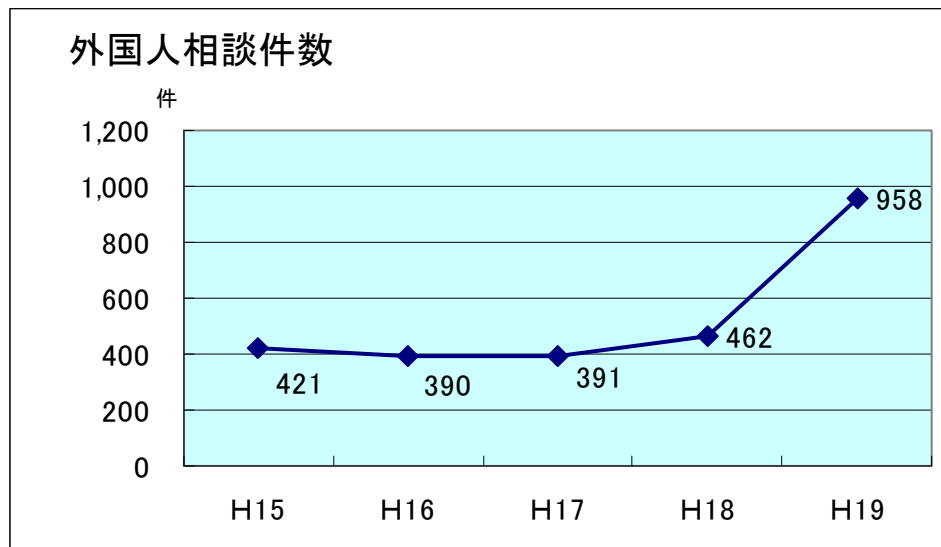
(4) 外国人登録者数（市内地区別）

平成20年5月現在

	地区名	外国人登録者数			地区別総人口 (日本人含)(B)	外国人登録者割合 (A/B)%
		男性	女性	合計(A)		
1	本庁	1,401	2,376	3,777	128,192	2.9%
2	宝木	110	182	292	30,257	1.0%
3	陽南	96	157	253	26,543	1.0%
4	平石	276	388	664	29,992	2.2%
5	清原	334	345	679	23,463	2.9%
6	横川	228	306	534	33,011	1.6%
7	瑞穂野	14	39	53	8,433	0.6%
8	豊郷	138	243	381	39,842	1.0%
9	国本	46	59	105	13,431	0.8%
10	富屋	10	134	144	4,455	3.2%
11	篠井	7	7	14	2,736	0.5%
12	城山	60	76	136	23,209	0.6%
13	姿川	156	224	380	54,391	0.7%
14	雀宮	129	298	427	41,400	1.0%
15	上河内	9	33	42	9,821	0.4%
16	河内	77	151	228	35,300	0.6%
全市計		3,091	5,018	8,109	504,476	1.6%

参考資料2 外国人相談に関するデータ

(1) 外国人相談件数の推移



* 平成 19 年 7 月より、国際交流プラザ開設、5ヶ国語による相談を実施

(2) 国際交流プラザにおける相談事案・件数

(1) 相談内容別

平成19年7月～平成20年10月

	相談区分	累計	全体に占める割合
1	在留資格・旅券	103	23.7%
2	結婚・離婚・家庭・DV	78	17.9%
3	医療・病院・心理	13	3.0%
4	福祉・医療費・生活費	18	4.1%
5	雇用・契約・労災	31	7.1%
6	税金・年金・保険	37	8.5%
7	住宅	6	1.4%
8	調停・裁判・弁護士	7	1.6%
9	消費・金銭貸借	25	5.7%
10	交通事故・違反・免許	10	2.3%
11	学校教育(保育園)	14	3.2%
12	暮らし一般	12	2.8%
13	留学・奨学金	3	0.7%
14	日本語・外国語学習	19	4.4%
15	通訳・翻訳依頼	19	4.4%
16	交流	5	1.1%
17	情報提供	17	3.9%
18	その他	18	4.1%
	合計	435	100.0%

(2) 言語別

	言語	相談累計	全体に占める割合
1	日本語	81	20.6%
2	ポルトガル語	57	14.5%
3	中国語	57	14.5%
4	スペイン語	87	22.1%
5	タイ語	66	16.8%
6	英語	45	11.5%
	合計	393	100.0%

参考資料3 国籍別就学者数

国籍別就学者数(上位9カ国)

平成19年5月現在

	国籍名	小学校 合計	中学校 合計	小学校 中学校 合計
1	中国・台湾	39	30	69
2	ブラジル	45	18	63
3	韓国・朝鮮	35	4	39
4	ペルー	24	10	34
5	タイ	17	12	29
6	フィリピン	12	7	19
7	ベトナム	4	2	6
8	※無国籍	1	3	4
9	ボリビア	3	0	3

* 複数名在籍している国のみ表示

合計 13カ国	183	87	270
---------	-----	----	-----

参考資料4 姉妹・文化友好都市交流実績

平成20年12月現在

種別／相手都市		マヌカウ市	齊齊哈爾市	オルレアン市	タルサ市	ピエトラサンタ市	合計
派遣	中学生	1,305	0	0	346	0	1,651
	高校生	142	0	0	12	0	154
	青少年	0	0	149	0	0	149
	市民訪問団	746	1,007	569	211	159	2,692
	スポーツ・文化交流	521	40	177	22	0	760
	語学留学生	0	9	0	0	0	9
	研修・実習団	0	1	29	0	0	30
	経済視察団	0	40	0	0	0	40
	商工農業関係研修	0	0	12	0	30	42
	市職員海外派遣研修	70	0	0	2	0	72
	その他	377	55	257	23	40	752
派遣合計		3,161	1,152	1,193	616	229	6,351
受入	中学生	0	0	0	53	0	53
	高校生	99	0	0	20	0	119
	青少年	379	14	55	54	0	502
	市民訪問団	554	66	26	71	0	717
	スポーツ・文化交流	134	8	15	0	0	157
	語学留学生	0	7	0	0	0	7
	研修・実習団	0	254	0	0	0	254
	経済・学術視察団	0	19	35	0	34	88
	商工農業関係研修	0	0	0	0	0	0
	市職員海外研修・協議	0	110	0	0	0	110
	その他	367	16	32	26	0	441
受入れ合計		1,533	494	163	224	34	2,448
合計		4,694	1,646	1,356	840	263	8,799

(国際交流プラザ調べ)

参考資料5 外国籍市民アンケート 調査票

うつのみやし がいこくせきしみん ちょうさ きょうりょく ねが
宇都宮市 外国籍市民アンケート調査 ご協力をお願い

宇都宮市での暮らしをよりよくするために、あなたのご意見をお聞かせください。

1 はじめに

宇都宮市は、言葉や文化の違いを超えて、誰にとっても暮らしやすいまちづくりを目指しています。このアンケート調査は、よりよいまちづくりの参考とするために、皆様から率直なご意見をお聞きしたく、宇都宮市が実施するものです。

調査にあたっては、宇都宮市にお住まいの外国籍市民の中から2500名の方々を無作為に選ばせていただきました。どうかこの調査の趣旨をご理解頂き、ご協力くださいますよう、お願いいたします。

- この調査は、出入国管理や外国人登録事務とは一切関係ありません
- お名前を書く必要はありません
- 頂いた回答は統計的に処理しますので、あなたの不利益や迷惑になることはありません。
- アンケート用紙は、「日本語」と「〇〇語」の2種類が入っています。どちらか一方にご回答ください。
- お答えいただいた調査票は、同封の返信用封筒に入れて、平成20年7月4日まで郵便ポストに入れてください。切手を貼る必要はありません。

2 記入の方法

- 回答に当たっては、選択肢の中から選んで○をつけてください。
- 回答の○の数は、それぞれの質問に（○は1つ）、（○は3つ）、（○はいくつでも）と書いてありますので、それに合わせてください。
- ご自分の答えがない場合は他に○を付け、（ ）の中に具体的に記入してください。
- 一部自由に記載いただく設問がありますので、そちらには率直なご意見をご記入ください。

* この調査の問い合わせ先は下記へお願いいたします。

【問い合わせ先】

うつのみやしやくしょ しみんせいかつぶ こくさいこうりゅう
宇都宮市役所 市民生活部 国際交流プラザ

t e l 028-616-1567 f a x 028-616-1568

e-mail : u1820@city.utsunomiya.tochigi.jp

質問項目

1 あなたご自身について

質問1 あなたの国籍は次のうち、どちらにあたりますか (○は1つ)

1 中国・台湾	2 韓国・朝鮮	3 ブラジル	4 タイ
5 フィリピン	6 ペルー	7 アメリカ	8 ベトナム
9 カナダ	10 マレーシア	11 イラン	12 イギリス
13 スリランカ	14 バングラデシュ	15 インド	16 インドネシア
17 ロシア	18 オーストラリア	19 ネパール	20 無国籍
21 その他 ()			

質問2 あなたの性別は次のどちらですか

1 男性	2 女性
------	------

質問3 あなたの年齢は次のどれにあたりますか

1 16歳～19歳	2 20歳～29歳	3 30歳～39歳
4 40歳～49歳	5 50歳～59歳	6 60歳～69歳
7 70歳以上		

質問4 あなたの在留資格は次のどれにあたりますか

1 教授	2 芸術	3 宗教	4 報道
5 投資・経営	6 法律・会計業務	7 医療	8 研究
9 教育	10 技術	11 人文知識・国際業務	12 企業内転勤
13 興行	14 技能	15 文化活動	16 短期滞在
17 留学	18 就学	19 研修	20 家族滞在
21 特定活動	22 永住者	23 日本人の配偶者等	24 永住者の配偶者等
25 定住者	26 特別永住者	27 その他	

質問5 日本での生活年数は通算してどのくらいになりますか

1 6ヶ月未満	2 6ヶ月以上～1年未満	3 1年以上～3年未満
4 3年以上～5年未満	5 5年以上～10年未満	6 10年以上～20年未満
7 20年以上～		

質問6 宇都宮市での生活年数は次のどれにあたりますか

1 6ヶ月未満	2 6ヶ月以上～1年未満	3 1年以上～3年未満
4 3年以上～5年未満	5 5年以上～10年未満	6 10年以上～20年未満
7 20年以上～		

2 ことばについて

質問7 あなたが母国語以外に日常会話ができる言語は次のどれですか
(○はいくつでも)

1 日本語	2 中国語	3 ポルトガル語
4 スペイン語	5 韓国語・朝鮮語	6 英語
7 タイ語	8 タガログ語	9 フランス語
10 その他 ()		

質問8 日本語をどの程度理解できますか (○は1つ)

1 「読む」「書く」「聞く」「話す」のいずれにも問題がない
2 「聞く」「話す」ことは問題がないが、「読む」「書く」ことは不十分である
3 あまり聞き取れず、あまり話せない
4 まったく聞き取れず、話すこともできない

質問9 日本語を学習していますか?

1 している
2 していない

質問9-1 (質問9で「1」とお答えの方に)

日本語を学習している方法を次の中から選んでください (○はいくつでも)

1 日本語学校で学んでい	2 大学で学んでいる	3 ボランティアの教室で学んでいる
4 家族から学んでいる	5 友人・知人から学んでいる	6 職場で学んでいる
7 テレビ・ラジオ・インターネットの講座で学んでいる	8 本や新聞・雑誌を読んでいる	9 その他 ()

質問9-2 (質問9で「2」とお答えの方に)

日本語を学習していない理由は次のうちどれですか? (○は1つ)

1 学びたいが時間がない	2 学ぶのにお金がかかる
3 母国語で十分である	4 教えてくれる場所を知らない
5 帰国予定なので学習する必要がない	6 面倒なので学習したくない
7 学習したがものにならなかった	
8 「読む」「書く」「聞く」「話す」いずれも堪能なので、学習する必要はない	
9 その他 ()	

3 宇都宮市での生活について

(1) 情報・相談について

質問 10 あなたは日本で生活するために必要な情報をどこから入手していますか？ (〇はいくつでも)

- | | |
|-------------------|-----------------|
| 1 家族・親戚 | 2 同国出身の知人・友人 |
| 3 日本人の知人・友人 | 4 職場・学校 |
| 5 同国出身者の団体 | 6 ボランティア団体 |
| 7 母国語の新聞・雑誌・サイトなど | 8 市役所の窓口や広報紙 |
| 9 大使館・領事館 | 10 教会や寺院などの宗教施設 |
| 11 入手する方法がない | 12 その他 () |

質問 11 困ったときに相談している相手について、次のうちから選んでください (〇はいくつでも)

- | | | |
|---------------|----------------|---------------|
| 1 家族・親戚 | 2 友人・知人 (同国出身) | 3 友人・知人 (日本人) |
| 4 職場の同僚・学校の仲間 | 5 ボランティア | 6 県や市の相談窓口 |
| 7 同国出身者の団体 | 8 近所の人 | 9 学校の先生 |
| 10 相談する相手がいない | 11 その他 () | |

質問 12 特に重要と考えている情報・行政サービスは次のうちどれですか？ (〇は3つまで)

- | | |
|-----------------|---------------------|
| 1 健康保険・医療・福祉の情報 | 2 子育て・教育の情報 |
| 3 ゴミの出し方などの生活情報 | 4 防災・災害時の情報 |
| 5 自治会や地域のルール | 6 公共サインにふりがな・ローマ字併記 |
| 7 外国語による情報提供 | 8 日本語学習の機会 |
| 9 日本人と交流する機会の提供 | 10 通訳・相談サービス |
| 11 その他 () | |

質問 13 現在利用している宇都宮市の行政サービスは次のうちどれですか？ (〇はいくつでも)

- | | |
|------------------------------|--------------------------------|
| 1 暮らしの便利帳などの冊子・パンフレット | 2 施設利用などの福祉サービス (高齢の方・障がいのある方) |
| 3 児童手当・保育園・就学援助などの子育て関係のサービス | 4 夜間休日診療所・医療費助成・予防接種などの保健サービス |
| 5 介護保険サービス | 6 外国人相談 |
| 7 市営住宅 | 8 その他 () |

(2) 子育てについて

(現在16歳未満のお子さんがいる方におうかがいします。それ以外の方は質問15へお進みください。)

質問14-1 お子さんのことで心配ごと・困っていることはありますか？(○はいいくつでも)

- | | |
|---|-----------------------|
| 1 | 学校の授業の内容が理解できない |
| 2 | 日本の生活習慣や文化・学校生活になじめない |
| 3 | 友達の輪に入れない |
| 4 | 日本語がよくわからない |
| 5 | 母国の言葉が話せない |
| 6 | 進学や就職のことが心配である |
| 7 | 特にない |
| 8 | その他 () |

質問14-2 子育てに関してご自身の心配ごと・困っていることはありますか？(○はいいくつでも)

- | | |
|---|------------------------------------|
| 1 | 子どもと得意な言葉が違うので、コミュニケーションが取りにくい |
| 2 | 日本の子育ての文化・習慣になじめない |
| 3 | 学校や保育園・幼稚園の先生や保護者が話している日本語がよくわからない |
| 4 | 子育てのことで相談できる人がまわりにいない |
| 5 | 保育料や教育費を負担するのが大変だ |
| 6 | 親同士の輪に入りにくい |
| 7 | 特にない |
| 8 | その他 |

質問14-3 お子さんが日本の公立小中学校に通学していない方にお尋ねします。その理由を次の中から選んでください(○は1つ)

- | | |
|---|-------------------------------------|
| 1 | 外国人学校に通学または通学予定 |
| 2 | 市外・海外に引っ越す予定 |
| 3 | 就学の手続きがわからない |
| 4 | 言葉や教育システムの違う日本の公立小中学校には通学させるのが不安である |
| 5 | その他 () |

(3) 医療・保険について

質問 1 5 あなた、またはご家族が病院に行ったときに困ったことはありますか？次の中から選んでください（○はいくつでも）

1 症状を説明できなかった	2 病気や治療・薬の説明がわからなかった
3 困ったことはない	4 診療を拒否された
5 健康保険に入っていなかった	6 その他（ ）

質問 1 6 あなたは、医療保険に加入していますか（○はいくつでも）

1 会社の社会保険	2 国民健康保険
3 民間の保険	4 加入していない
5 加入しているかどうかわからない	6 その他（ ）

質問 1 6 - 1 医療保険に入っていない理由は何ですか？次の中から選んでください（○は1つ）

1 しくみを知らない	2 会社が入れてくれない
3 保険料が高い	4 その他（ ）

(4) 仕事について

質問 1 7 あなたの職業は次のどれですか？（○は1つ）2つ以上働いている場合は、主な方をお答えください。

*この質問に答えることであなたの生活に不利益になるようなことはありませんので、ありのままをお答えください。学生の方のアルバイトも含みます。

1 自営業	2 技能実習生
3 教授・教師	4 研究所・工場などの技術者
5 土木作業・建設業	6 レストランなどでの調理
7 通訳・翻訳・貿易等の業務	8 接客・サービス業
9 一般事務	10 工場での製造業務
11 仕事はしていない	12 その他（ ）

質問 1 7 - 1（「3～10」のいずれかにお答えの方）

その仕事にはどのような立場で働いていますか？（○は1つ）

1 会社の役員	2 会社に直接雇用
3 派遣会社から職場に派遣（派遣社員）	4 請負業者に雇用され、工場や建設工事現場で働いている
5 パート・アルバイト（学生）	6 パート・アルバイト（学生以外）
7 わからない	8 その他（ ）

(5) 災害時の対応

質問 18 地震などの大きな災害が起きたときに、あなたはどのようなことが心配ですか、次の中から選んでください (〇はいくつでも)

- | | |
|-------------------------|-------------------------|
| 1 どこに避難したらよいかわからない | 2 家族と連絡が取れるか心配 |
| 3 自分に理解できる言語で情報が得られるか不安 | 4 周りの人に自分の意思やお願いが伝わるか不安 |
| 5 何をしたらよいかかわからない | 6 特に不安はない |
| 7 その他 () | |

質問 19 災害が起きたときのために準備していることはありますか (〇はいくつでも)

- | | |
|------------------|---------------|
| 1 避難場所・連絡方法の確認 | 2 非常用の食糧・水の用意 |
| 3 消火器・懐中電灯などの用意 | 4 避難経路の確認 |
| 5 何をしたらよいかかわからない | 6 特に何もしていない |
| 7 その他 () | |

質問 20 災害が起きたときに特に必要と考える支援策を次の中から選んでください (〇は3つまで)

- | | |
|---------------------|--|
| 1 避難場所のわかりやすい表示 | 2 日本人とのコミュニケーションのための道具 (会話帳・用語集など) の提供 |
| 3 大使館や入国管理局への連絡支援 | 4 母国語での災害情報提供 (ラジオなど) |
| 5 避難生活のルールを多言語で知らせる | 6 仮設住宅申込や資金貸付などの援助策に関する情報提供 |
| 7 母国語による相談窓口の開設 | 8 わからない |
| 9 その他 () | |

(6) 住居について

質問 2 1 あなたが今住んでいる家の種類は次のうちどれですか (○は1つ)

1 持ち家	2 民間アパート・借家
3 公営住宅	4 学生寮
5 社宅	6 友人・知人の家
7 親戚の家	8 その他 ()

質問 2 1-1 その住居はどのように見つけましたか? (○は1つ)

1 不動産業者の紹介	2 親戚の紹介
3 勤務先の紹介・用意	4 派遣先の紹介・用意
5 学校の紹介	6 友人・知人の紹介
7 広告	8 その他 ()

(7) 生活全般で困ったこと・不安に感じていること

質問 2 2 宇都宮市で生活していく上で困ったことや不便を感じたことがあったら、自由にご記入ください。

4 地域活動について

(1) 近所・地域とのつきあいについて

質問 2 3 あなたは近隣の日本人とどのような付き合いをされていますか? 次のの中から選んでください (○は1つ)

1 あいさつをするだけ	2 親しく行き来している
3 世間話をする	4 付き合いはほとんどない

質問 2 4 地域社会で生活していく上で、日本人との交流についてどう考えますか? 次のの中から選んでください (○はいくつでも)

1 地域活動などを通して積極的に交流をしたい	2 日本語や日本の生活習慣を教えてほしい
3 文化交流をしたい	4 日本人と一緒にボランティア活動に参加したい
5 交流しなくてよい	6 その他 ()

(2) 自治会への参加について

質問 2 5 宇都宮市には明るく住みよいまちづくりのために、お住まいの地域ごとに「自治会」という組織があります。あなたは自治会には入っていますか？

- | | |
|---|--------------|
| 1 | はい
入っている |
| 2 | はい
入っていない |

質問 2 5-1 「2」とお答えの方に)

入っていない理由は次のうちのどれですか？ (○は1つ)

- | | |
|---|--------------------|
| 1 | 自治会を知らない |
| 2 | 入る手続きがわからない |
| 3 | 関心がないので入らない |
| 4 | 関心はあるが入ると面倒なので入らない |
| 5 | その他 () |

(3) 地域活動について

質問 2 6 今までに地域活動に参加したことがありますか？ 次のうち参加したことがあるものを選んでください (○はいくつでも)

- | | | | |
|---|-----------------|---|---------------|
| 1 | 夏祭りなどの地域のイベント | 2 | 子ども会・PTAなどの活動 |
| 3 | 同国出身者主催のイベント | 4 | 学校や会社のイベント |
| 5 | 国際交流団体が主催するイベント | 6 | その他 () |

質問 2 6-1 よりよい地域づくりの実現のため、市民主体のさまざまな活動が盛んになることが望まれますが、どのような地域活動をしてみたいですか？ 次のなかからを選んでください (○はいくつでも)

- | | | | |
|---|---------------------------|---|-------------------------|
| 1 | 日本人に自分の母国の文化や料理を紹介したい | 2 | 子ども会・PTAなどの活動と一緒に取り組みたい |
| 3 | 母国語を日本人に教えたい | 4 | 自治会活動に参加したい |
| 5 | 在住外国人の生活を支援するボランティアに参加したい | 6 | 母国語や母国の文化を同国籍の子どもに教えたい |
| 7 | したくない | 8 | その他 () |

5 今後の定住意向について

質問 27 あなたは今後も宇都宮市で暮らす予定がありますか？ (○は1つ)

- | | |
|---|---------------------------------------|
| 1 | 今後も引き続き生活する予定である |
| 2 | 仕事や学校などの都合によって帰る・引っ越す予定である (母国その他の国へ) |
| 3 | 仕事や学校などの都合によって引っ越す予定である (国内の他の市町村へ) |
| 4 | わからない |
| 5 | その他 () |

質問 28 あなたは宇都宮市に住み続けたいと思いますか？次の中から選んでください (○は1つ)

- | | | | |
|---|-------------------|---|---------------------|
| 1 | ずっと住み続けたい (10年以上) | 2 | 当分住み続けたい (5年～10年程度) |
| 3 | 市外に引っ越したい | 4 | 海外に引っ越したい |
| 5 | 母国に帰国したい | 6 | わからない |

質問 29 宇都宮市の暮らしやすいところはどんなところですか？ (○は3つまで)

- | | | | |
|---|------------------|---|-----------------|
| 1 | 買い物など日常生活が便利 | 2 | 豊かな自然環境に恵まれている |
| 3 | 災害が少ない | 4 | 高速道路や幹線道路が整っている |
| 5 | 身近な生活道路が整っている | 6 | 住環境が充実している |
| 7 | 公園やレジャーの場が豊富 | 8 | わからない |
| 9 | その他 ご自由にご記入ください。 | | |
-

質問 30 宇都宮市の暮らしにくいところはどんなところですか？ (○は3つまで)

- | | | | |
|---|------------------|---|-----------------|
| 1 | 中心市街地に活気がない | 2 | 公共交通機関があまり便利でない |
| 3 | 働くところが少ない | 4 | 医療サービスがあまり便利でない |
| 5 | 子育ての環境があまり良くない | 6 | 福祉サービスがあまり便利でない |
| 7 | まちの治安や事故が心配 | 8 | わからない |
| 9 | その他 ご自由にご記入ください。 | | |
-

6 さいごに

外国籍の市民と日本人の市民がお互いに協力し合って宇都宮市をもっと暮らしやすいまちにするために、あなたの率直なご意見をお聞かせください。

ご協力くださりまして、どうもありがとうございました。

参考資料6 アンケート調査結果

1 回答者の属性

(1) 国籍

質問1 あなたの国籍は次のどれですか	回答数	構成比
1 中国・台湾	265	42.9%
2 韓国・朝鮮	89	14.4%
3 ブラジル	30	4.9%
4 タイ	63	10.2%
5 フィリピン	59	9.5%
6 ペルー	8	1.3%
7 アメリカ	19	3.1%
8 ベトナム	4	0.6%
9 カナダ	8	1.3%
10 マレーシア	6	1.0%
11 イラン	6	1.0%
12 イギリス	5	0.8%
13 スリランカ	2	0.3%
14 バングラデシュ	2	0.3%
15 インド	7	1.1%
16 インドネシア	6	1.0%
17 ロシア	2	0.3%
18 オーストラリア	2	0.3%
19 ネパール	0	0.0%
20 無国籍	0	0.0%
21 その他	28	4.5%
無回答	7	1.1%
合計	618	

送付件数および在住外国人の国別の割合にほぼ比例した回答だったが、ブラジル人からの回答率が低かった（全在住外国人の約10%がブラジル出身者であり、送付枚数も比例していたが、回答率は4%にとどまった。）。

(2) 性別

質問2 あなたの性別は次のどちらですか	回答数	構成比
1 男性	166	26.9%
2 女性	413	66.8%
無回答	39	6.3%
合計	618	

有効回答件数に対する回答率は男性が 20.7%，女性が 29.2%であった。

(3) 年齢

質問3 あなたの年齢は次のどれにあたりますか	回答数	構成比
1 16歳～19歳	5	0.8%
2 20歳～29歳	162	26.2%
3 30歳～39歳	207	33.5%
4 40歳～49歳	110	17.8%
5 50歳～59歳	85	13.8%
6 60歳～69歳	34	5.5%
7 70歳以上	10	1.6%
無回答	5	0.8%
合計	618	

(4) 在留資格

質問4 あなたの在留資格は次のどれにあたりますか	回答数	構成比
1 教授	0	0.0%
2 芸術	0	0.0%
3 宗教	5	0.8%
4 報道	0	0.0%
5 投資・経営	1	0.2%
6 法律・会計業務	0	0.0%
7 医療	0	0.0%
8 研究	1	0.2%
9 教育	9	1.5%
10 技術	12	1.9%
11 人文知識・国際業務	12	1.9%
12 企業内転勤	8	1.3%
13 興行	0	0.0%
14 技能	2	0.3%
15 文化活動	0	0.0%
16 短期滞在	1	0.2%
17 留学	65	10.5%
18 就学	4	0.6%
19 研修	45	7.3%
20 家族滞在	32	5.2%
21 特定活動	3	0.5%
22 永住者	166	26.9%
23 日本人の配偶者等	147	23.8%
24 永住者の配偶者等	18	2.9%
25 定住者	39	6.3%
26 特別永住者	36	5.8%
27 その他	7	1.1%
無回答	5	0.8%
合計	618	

「日本人の配偶者等」が最も高く、ついで「永住者の配偶者等」が続く。このほか、「留学」が10.5%、「研修」が7.3%となった。

(5) 日本での生活年数

質問5 日本での生活年数は通算してどのくらいになりますか	回答数	構成比
1 6ヶ月未満	18	2.9%
2 6ヶ月以上～1年未満	37	6.0%
3 1年以上～3年未満	105	17.0%
4 3年以上～5年未満	66	10.7%
5 5年以上～10年未満	131	21.2%
6 10年以上～20年未満	178	28.8%
7 20年以上～	78	12.6%
無回答	5	0.8%
合計	618	

5年以上日本で生活している人が約6割を超えた。

(6) 宇都宮市での生活年数

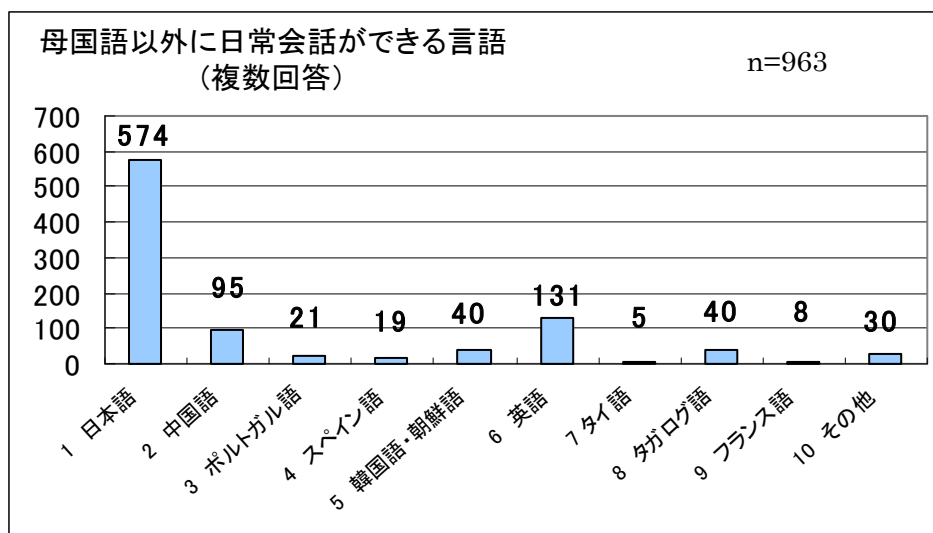
質問6 宇都宮市での生活年数は次のどれにあたりますか	回答数	構成比
1 6ヶ月未満	33	5.3%
2 6ヶ月以上～1年未満	60	9.7%
3 1年以上～3年未満	112	18.1%
4 3年以上～5年未満	77	12.5%
5 5年以上～10年未満	135	21.8%
6 10年以上～20年未満	143	23.1%
7 20年以上～	54	8.7%
無回答	4	0.6%
合計	618	

5年以上本市で生活しているという回答が半数を超えた。一方、1年未満の滞在についても15%を占めている。

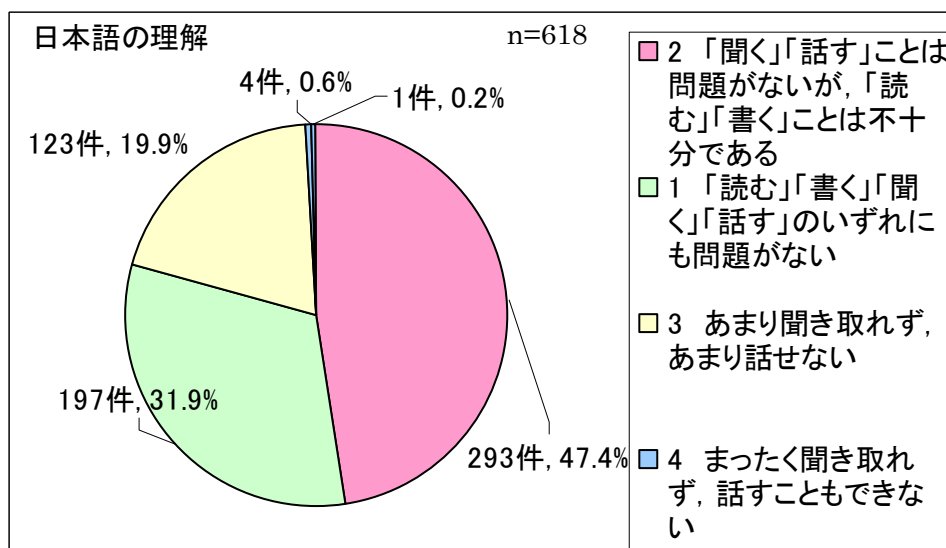
2 調査結果のあらまし

(1) 言語について

①母国語以外に日常会話ができる言語を聞いたところ、「日本語」が574件(59.6%)を占め、ついで「英語」が131件(13.6%)となった。以下、「中国語」95件(9.9%)、「タガログ語」40件(4.2%)、「ハングル」40件(4.2%)が続いた。



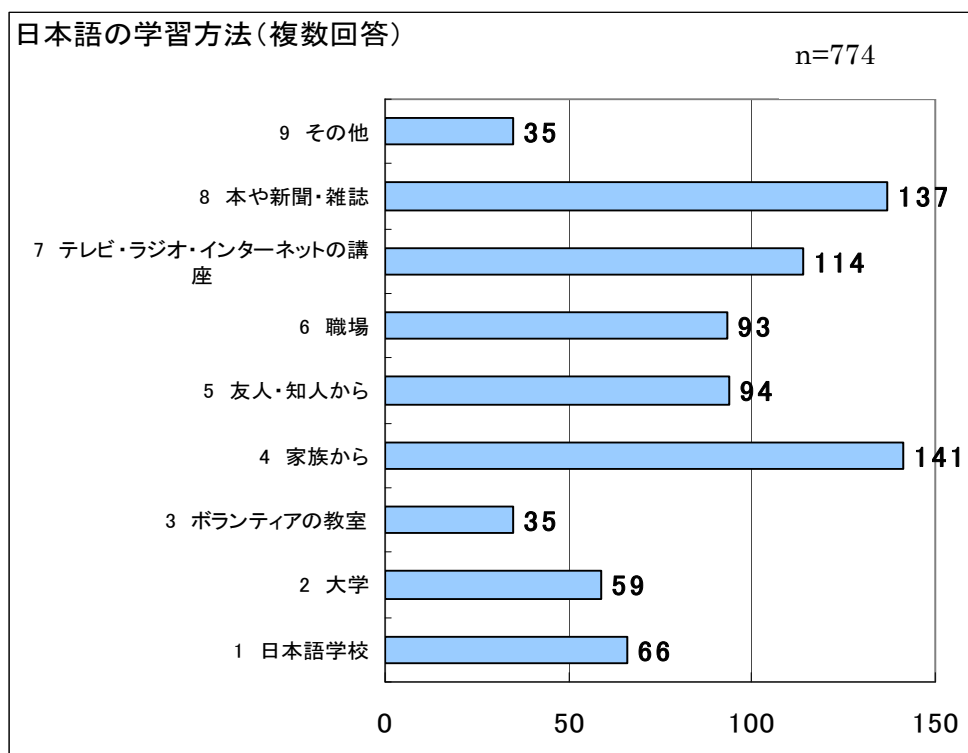
②日本語を理解できる程度については、『聞く』『話す』ことは問題がないが、『読む』『書く』ことには不十分である」という人が293件(47.4%)、ついで『読む』『書く』『聞く』『話す』のいずれにも問題がない」という人が197件(31.9%)となった。一方、「あまり聞き取れず、あまり話せない」という人が123件(19.9%)と2割近くを占めた。



③日本語を学習しているかどうかについては、375件(60.7%)が「学習している」と回答し、一方、「学習していない」と回答した人は220件(35.6%)となった。

「学習している」と回答した人に対し、学習方法を尋ねたところ、「家族から学んでいる」との回答が141件(18.2%)、ついで「本や新聞・雑誌を読んで学んでいる」が137件(17.7%)、ついで「テレビ・ラジオ・インターネットの講座で学んでいる」が114件(14.7%)と続く。

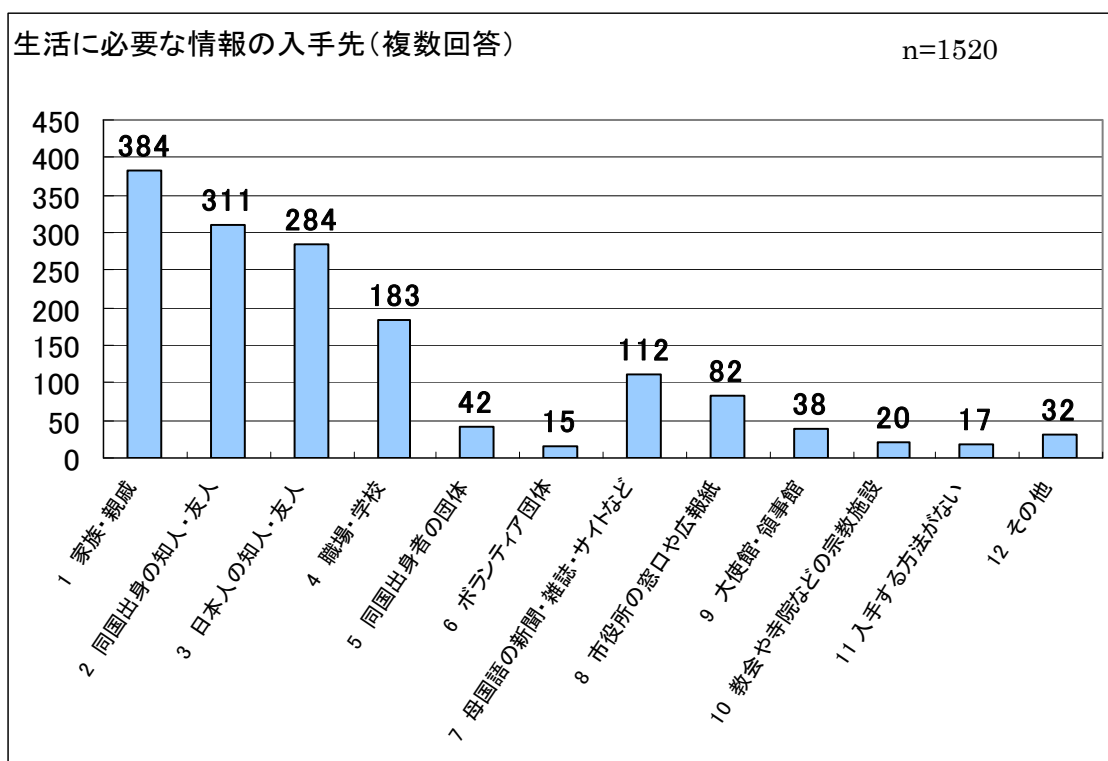
他方、「学習していない」と回答した人の理由としては、「学びたいが時間がない」が80件(34.8%)で最も高く、以下、「『読む』『書く』『聞く』『話す』いずれ堪能なので学習する必要がない」が47件(20.4%)、「学ぶのにお金がかかる」が36件(15.7%)となっている。



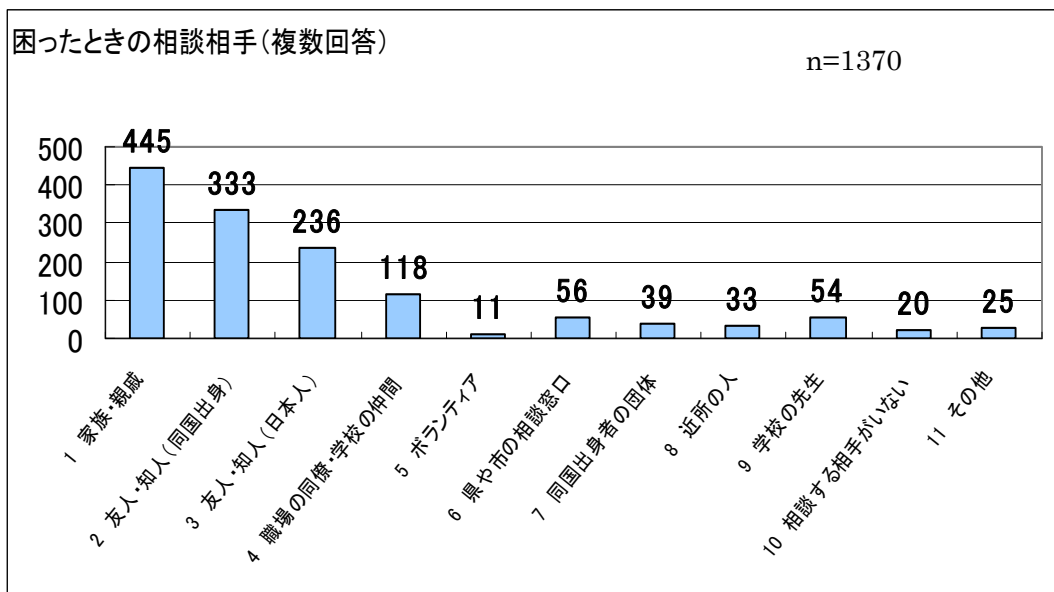
(2) 生活情報・相談

①情報・相談について

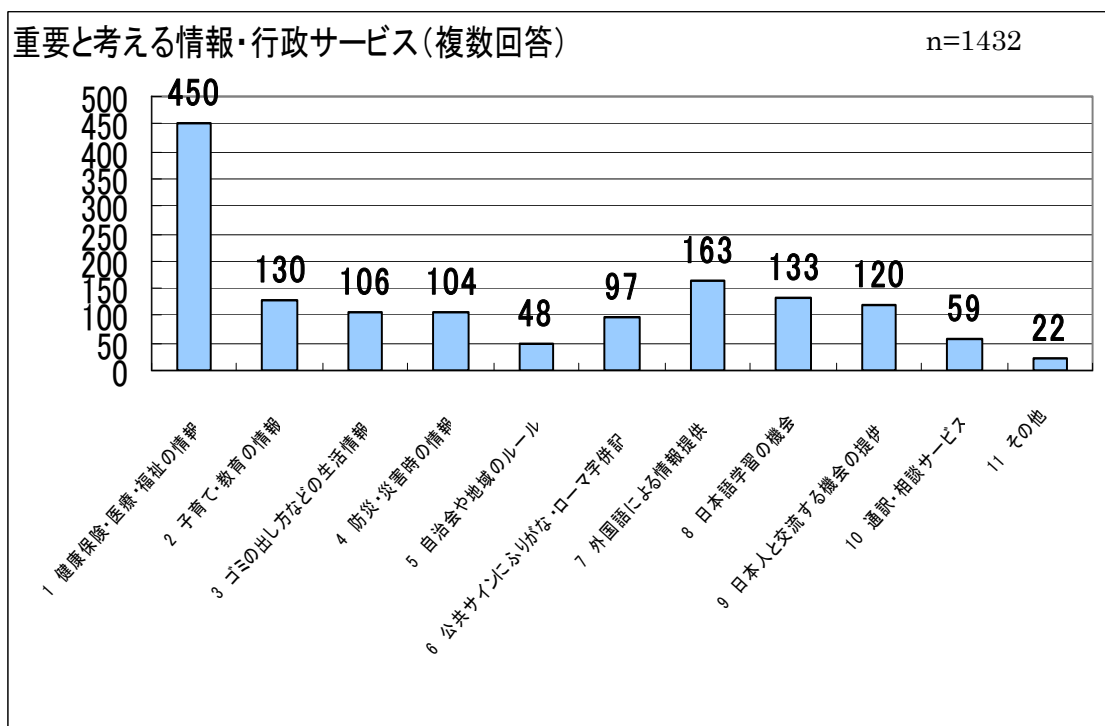
(ア) 生活情報の入手先については、「家族・親戚」とした人が 384 件 (25.3%) となり、「同国出身の知人・友人」が 311 件 (20.5%), 「日本人の知人・友人」が 284 件 (18.7%), 「職場・学校」が 183 件 (12.0%) と続く。



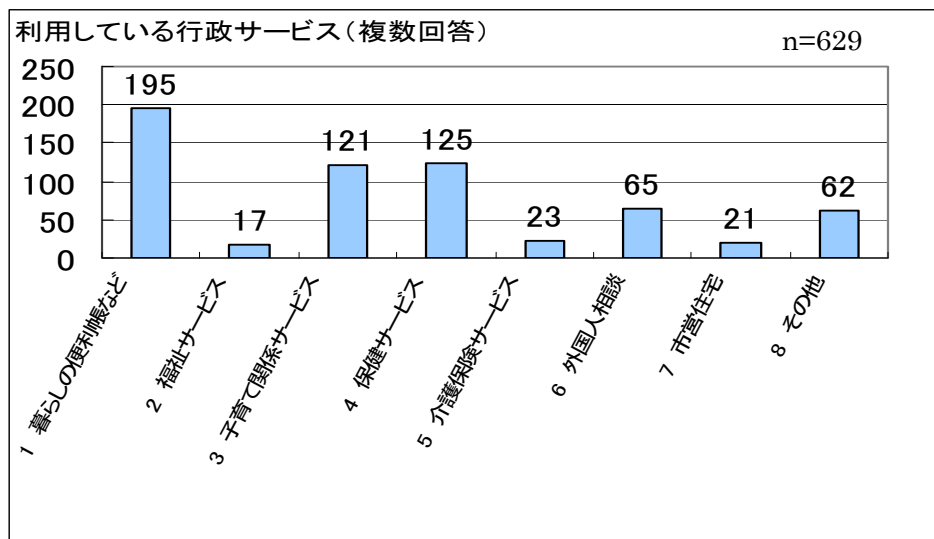
(イ) 困ったときの相談先は、「家族・親戚」とした人が 445 件 (32.5%) と最も多く、「同国出身の友人・知人」が 333 件 (24.3%), 「日本人の友人・知人」が 236 件 (17.2%), 「職場の同僚・学校の仲間」が 118 件 (8.6%) となった。「県や市の相談窓口」とした人は 56 件 (4.1%), 「相談する相手がいない」とした人も 20 件 (1.5%) いた。



(ウ) 特に重要と考えている情報・行政サービスについて尋ねたところ、「健康保険・医療・福祉の情報」が重要とする回答が 450 件 (31.4%) と最も多く、ついで「外国語による情報提供」が 163 件 (11.4%)、「日本語学習の機会」が 133 件 (9.3%)、「子育て・教育の情報」が 130 件 (9.1%) と続く。



(エ) 現在利用している行政サービスについては、「暮らしの便利帳などの冊子・パンフレットによる情報提供」が195件(31.0%)、「夜間休日診療所・医療費助成・予防接種などの保健サービス」が125件(19.9%)、「児童手当・保育園・就学援助などの子育て関係のサービス」が121件(19.2%)、ついで「外国人相談」が65件(10.3%)となった。



②子育てについて（16歳未満の子どもがいる方を対象）

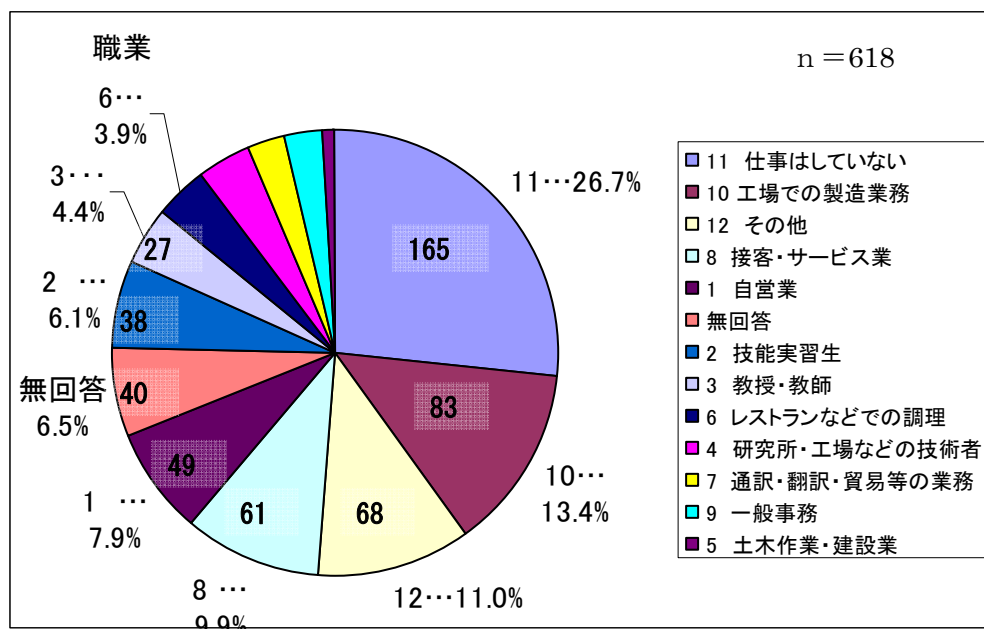
- (ア) 子どもに関する心配事（複数回答）については、「特にない」が67件（22.9%）で最も多く、「(子どもが)母国の言葉を話せない」が57件（19.5%）、「進学や就職のことが心配である」が45件（15.4%）となっている。
- (イ) 子育てをする自分自身に関する心配事（複数回答）については、「特にない」が78件（24.7%）、ついで「親同士の輪に入りにくい」が60件（19.0%）、「保育料や教育費を負担するのが大変だ」が44件（13.9%）、「学校や保育園・幼稚園の先生や保護者が話している日本語がよくわからない」が38件（12.0%）と続く。
- (ウ) 子どもが日本の公立小中学校に通学していない方を対象に、その理由を聞いたところ、基数が60件と他の設問に比べて少なく、「その他」が34件（56.7%）ともっとも高く、ついで「言葉や教育システムの違う日本の公立小中学校には通学させるのが不安である」が10件（16.7%）、「外国人学校に通学または通学予定」が9件（15.0%）となった。

(3) 医療・保険について

- ①病院で困ったこと（複数回答）について聞いたところ、「困ったことはない」が265件（37.2%）、「症状を説明できなかった」が192件（27.0%）、「病気や治療・薬の説明がわからなかった」が179件（25.1%）と続く。一方、「診療を拒否された」と回答した人は7件（1%）であった。
- ②医療保険加入の有無（複数回答）については、「会社の健康保険」「国民健康保険」に加入していると答えた人が合わせて553件（81.6%）を占めた。一方、「加入していない」と答えた人も35件（5%）いた。
- ③医療保険に加入していない理由については、「保険料が高い」が24件（31.6%）、ついで「しくみを知らない」が17件（22.4%）と続く。

(4) 仕事について

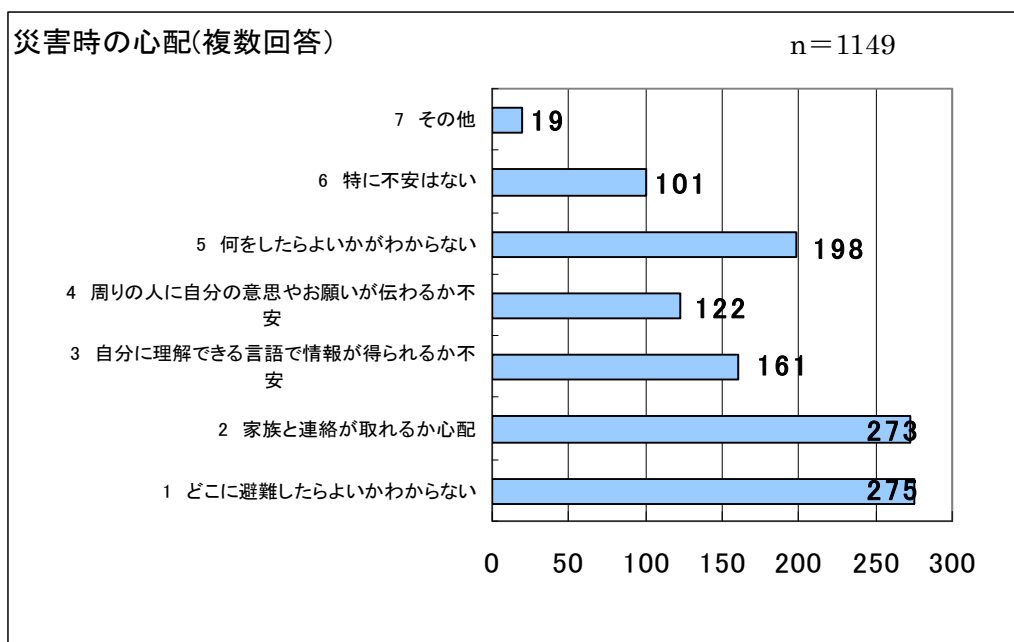
①職業については、「仕事はしていない」が165件(26.7%)、ついで「工場での製造業務」が83件(13.4%)、「その他」が68件(11.0%)、「接客・サービス業」が61件(9.9%)と続く。



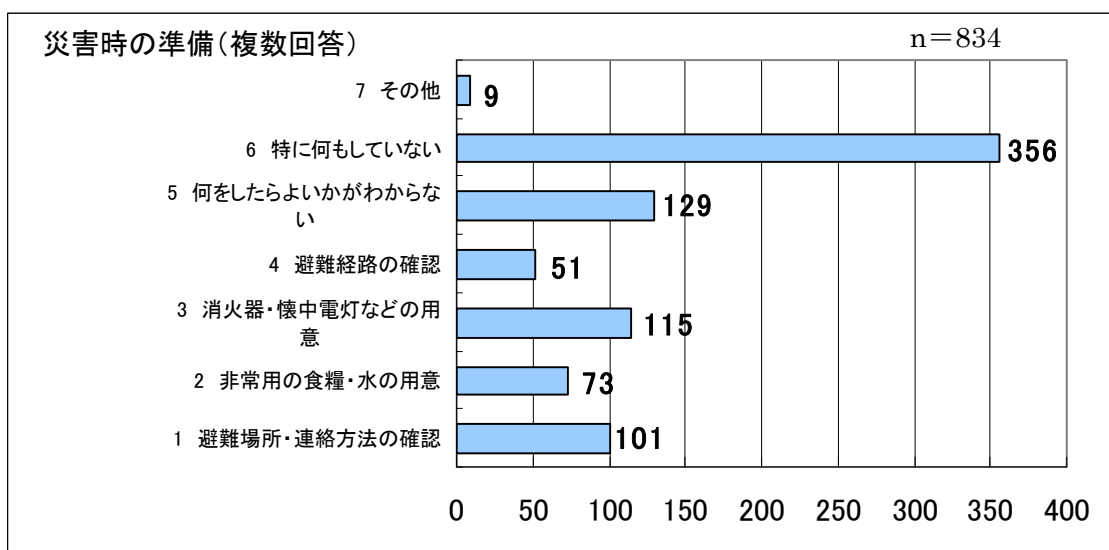
②雇用形態については、会社に直接雇用が83件(26.7%)と最も多く、ついで「パート・アルバイト(学生以外)」が58件(18.6%)、「派遣会社から職場に派遣」が48件(15.4%)、「パート・アルバイト(学生)」が47件(15.1%)となった。

(5) 災害時の対応

①災害時に不安に思っていることについては、「どこに避難したらよいかわからない」が 275 件 (23.9%), 「家族と連絡が取れるか心配」が 273 件 (23.8%) となった。一方, 「何をしたらよいかかわからない」の回答が 198 件 (17.2%) を占めた。



②災害が起きたときの準備については, 「特に何もしていない」が 356 件 (42.7%), 「何をしたらよいかかわからない」が 129 件 (15.5%) と, 「準備をしていない, わからない」という回答が全体の約 6 割を占めた。ついで「消火器・懐中電灯などの用意」が 115 件 (13.8%), 「避難場所・連絡方法の確認」が 101 件 (12.1%) と続く。



③特に必要と考える支援策（複数回答）については、「避難場所のわかりやすい表示」が 349 件（27.0%）、ついで「仮設住宅申込や資金貸付などの援助策に関する情報提供」が 219 件（17.0%）、「大使館や入国管理局への連絡支援」が 197 件（15.3%）となっている。

（6）住居について

①居住している家の種類については「民間アパート・借家」が 279 件（45.1%）と半数近くで最も多く、以下「持ち家」が 184 件（29.8%）、「社宅」50 件（8.1%）「公営住宅」42 件（6.8%）と続く。

②住居の見つけ方については、「不動産業者の紹介」が 174 件（28.2%）、「その他」が 82 件（13.3%）、「友人・知人の紹介」が 80 件（12.9%）となった。その他の多くは「配偶者の家」がほとんどであった。

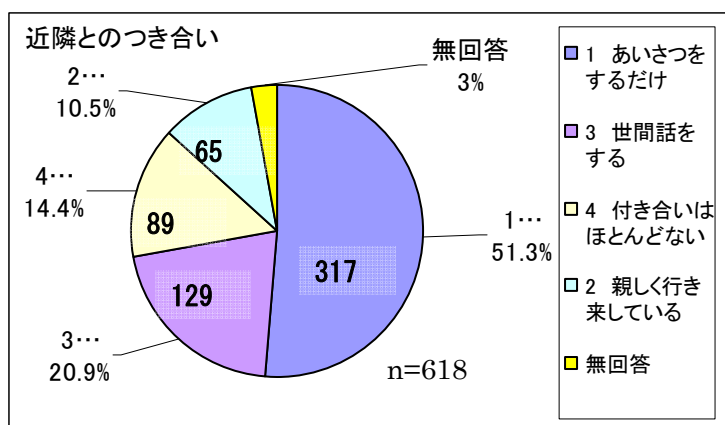
（7）生活全般で困ったこと、不安に感じていること（自由回答）

・物価高による生活苦，就職先が少ない，交通が不便などの意見が多く寄せられた。

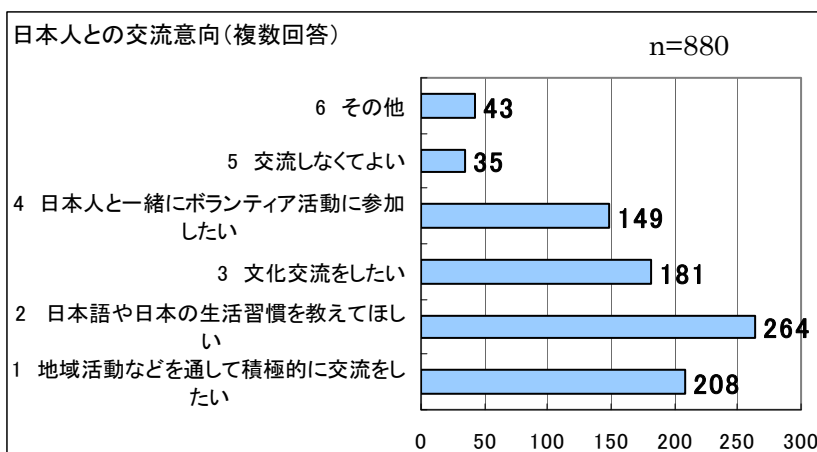
（8）地域活動について

①近隣の日本人との付き合いについて

（ア）付き合いの程度については、「あいさつをするだけ」が 317 件（51.3%）、「世間話をする」が 129 件（20.9%）、「付き合いはほとんどない」が 89 件（14.4%）と続き、「親しく行き来している」は 65 件（10.5%）であった。



(イ) 日本人との交流意向（複数回答）については、「日本語や日本の生活習慣を教えてほしい」が 264 件（30.0%）で最も多く、「地域活動などを通して積極的に交流をしたい」が 208 件（23.6%）、「文化交流をしたい」が 181 件（20.6%）となった。一方、「交流したくない」という回答は 35 件（4.0%）であった。



②自治会への参加について

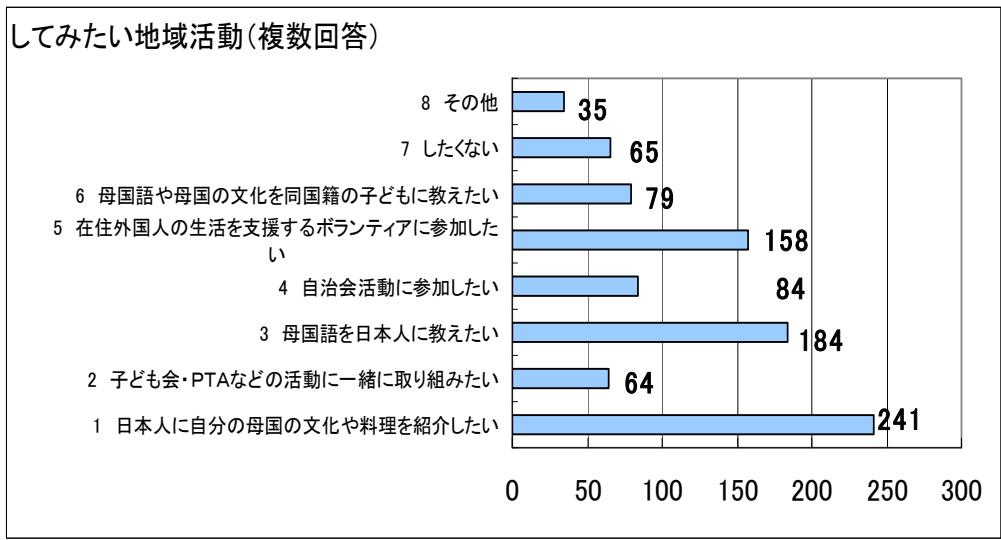
(ア) 自治会加入の有無については、「入っている」が 196 件（31.7%）、「入っていない」が 398 件（64.4%）と、「入っていない」旨の回答が「入っている」の 2 倍となった。

(イ) 加入していない理由については「自治会を知らない」が 210 件（53.3%）と最も高く、「入る手続きがわからない」が 73 件（18.5%）、「関心がないので入らない」が 46 件（11.7%）となった。

③地域活動への参加の有無

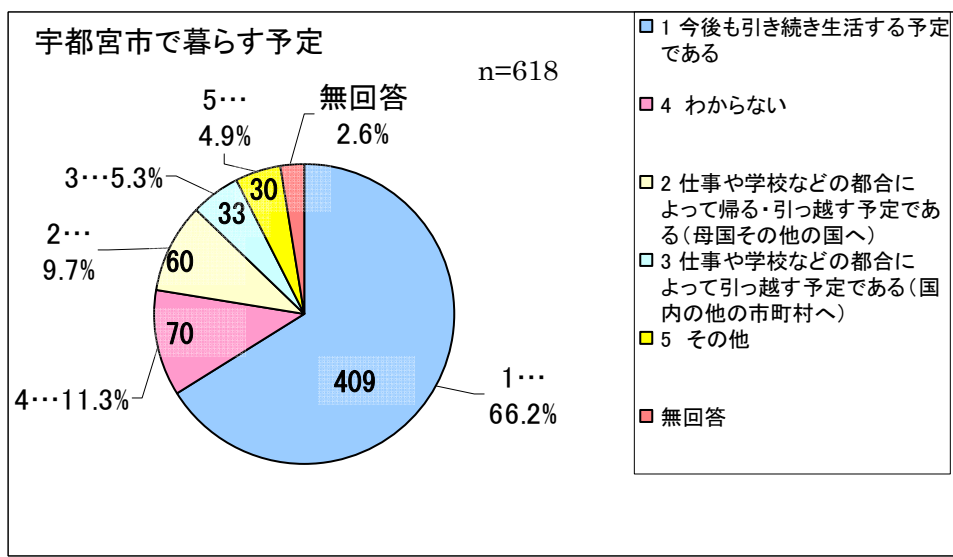
(ア) これまでに参加したことのある地域活動（複数回答）については「夏祭りなどの地域のイベント」が 205 件（26.0%）、「学校や会社のイベント」が 200 件（25.3%）となった。

(イ) 活動への参加意向（複数回答）については、「日本人に自分の母国の文化や料理を紹介したい」が 241 件（26.5%）、「母国語を日本人に教えたい」が 184 件（20.2%）と続き、日本人に自国の文化や言葉を紹介したいという意向が 4 割を超えた。ついで、「在住外国人の生活を支援するボランティアに参加したい」が 158 件（17.4%）となっている。「活動したくない」との回答も 65 件（7.1%）あった。

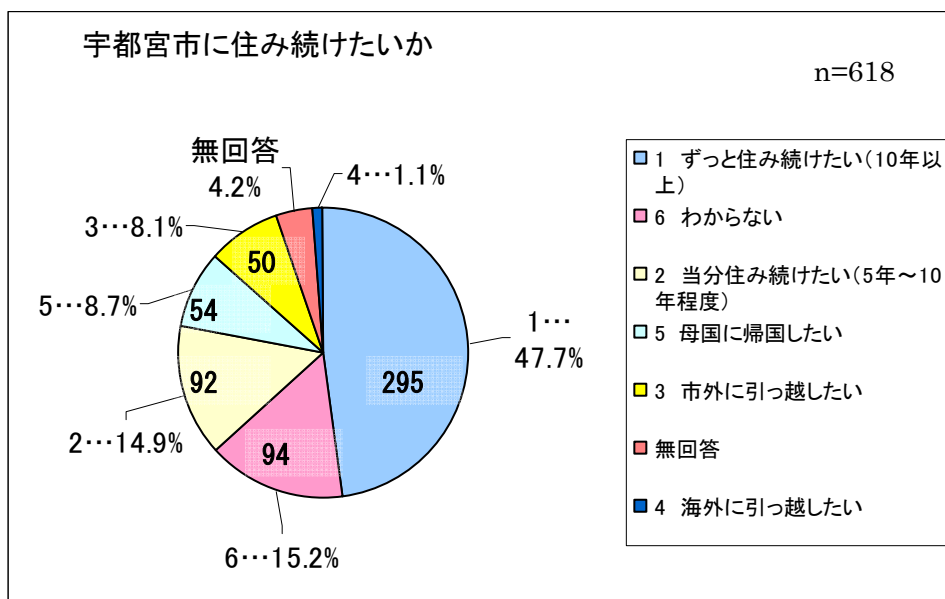


(9) 今後の定住意向・本市の住みやすさなどについて

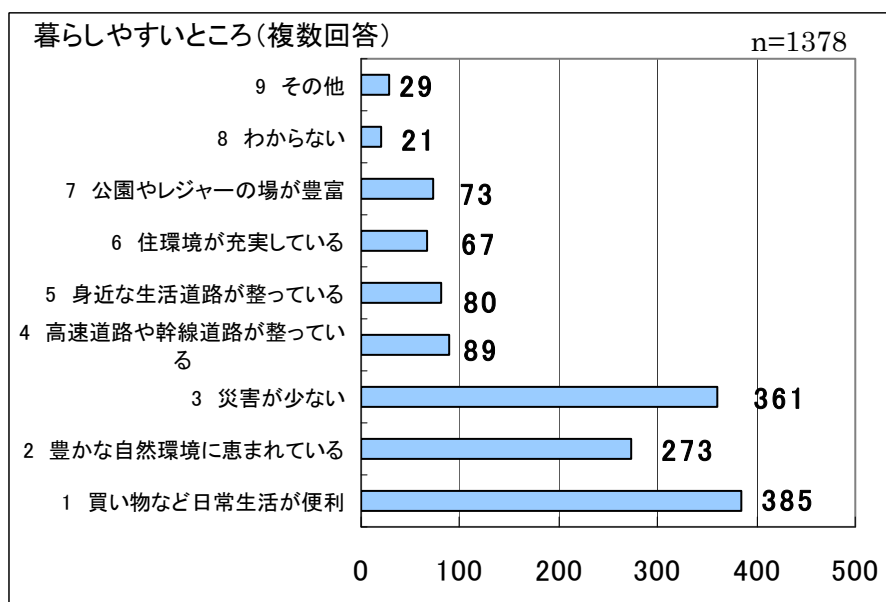
①今後の在住予定については、「引き続き生活する予定である」が409件(66.2%)でもっとも多い。



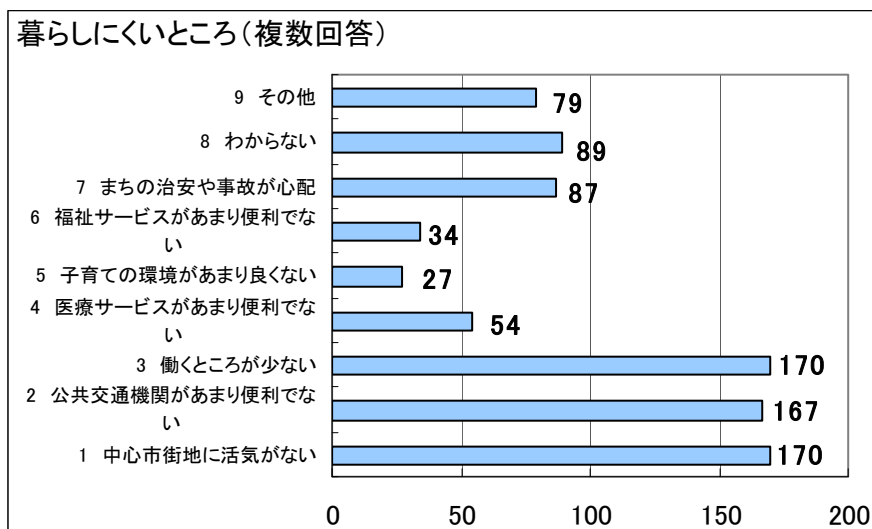
②本市に住み続けたいか聞いたところ、「ずっと住み続けたい(10年以上)」が295件(47.7%)、「当分住み続けたい(5年~10年程度)」が92件(14.9%)と「住み続けたい」とした人が6割を超えた。一方、市外・海外に引っ越したいと回答した人を合計すると16.8%となった。



③本市のよいところ・住みやすさ（複数回答）については「買い物など日常生活が便利」が385件（27.9%）が最も多く、「災害が少ない」が361件（26.2%）、「豊かな自然環境に恵まれている」が273件（19.8%）と続く。



④本市の不便なところ（複数回答）については、「中心市街地に活気がない」「働くところが少ない」が170件（19.4%）と並んで上位を占め、ついで「公共交通機関があまり便利でない」が167件（19.0%）となった。



⑤ 回答した件数で見えた場合、「暮らしやすいところ」への回答が1378件、「不便なところ」への回答が877件と、相対的には暮らしやすいまちと認識されている。

(10) 自由回答(主な意見)

- ・日本人と外国人は互いに理解しあい、尊敬しあうべきだ
- ・日本人と交流したい、交流する機会や場所がほしい
- ・日本語や日本の文化を習いたい、教えてほしい
- ・外国人への偏見をなくしてほしい。
- ・宇都宮は住みやすく、生活は満足している

参考資料7 宇都宮市国際化推進計画策定懇談会

(1) 委員名簿

	氏名	役職
1 学識経験者	田巻 松雄	宇都宮大学国際学部教授 宇都宮大学多文化公共圏センター長
	和田 佐英子	宇都宮共和大学シティライフ学部准教授
2 公募委員	阿久津 容子	清原地区国際交流会 会長
	黒瀬 裕二	UK II (宇都宮国際交流会) 会長
3 関係団体代表	上野 和夫	宇都宮商工会議所 国際交流委員会 委員長
	白井 佳子	NPO法人宇都宮市国際交流協会 理事長
	酒井 昭二	宇都宮SGGクラブ (善意通訳組織化団体) 副会長
	中田 隆人	宇都宮市連合自治会副会長
4 在住外国人	福泉 水玲	栃木県台湾友好会
	石川 アンナ	宇都宮市国際交流協会職員
5 議員	西 房美	進歩クラブ
	半貫 光芳	宇都宮緑風会

(2) 提言書

平成 21 年 3 月

宇都宮市長 佐藤 栄一 様

宇都宮市国際化推進計画策定懇談会
会長 田巻 松雄

「(仮称)宇都宮市国際化推進計画」に係る意見書の提出について

当懇談会は、平成 20 年 9 月から 5 回にわたり会議を開催し、国際化社会に対応したまちづくりを目指し、様々な角度から議論を重ねてまいりました。

この議論を通し、在住外国人も日本人も地域を活性化させ、都市の発展を支える市民であることを基本認識として、誰もが安心して生活できる地域社会の構築と世界を視野に入れたまちづくりに向け、各種の施策事業を展開し、特に地域における相互理解のための取り組みや、ボランティアの活動支援について、最も重要な施策事業として実施すべきであるとの意見をまとめたところです。

宇都宮市におかれましては、この提言書の趣旨を計画に十分に反映していただくとともに、国際化に向けた取り組みの推進にあたっては、民間団体・教育機関・企業などとの連携を図りながら、効果的に推進することを期待し、本提言書を提出いたします。

1 提言にあたって

当懇談会は、宇都宮市が平成16年3月に策定した「宇都宮市国際化推進基本計画」を見直し、新たに「(仮称)宇都宮市国際化推進計画」を策定するにあたり、様々な角度から討議した結果を意見として提言するものである。

当懇談会においては、国際化社会に対応したまちづくりを目指し、計画期間である5年間に実効ある取り組みがなされるよう、平成20年9月から5回にわたり懇談会を開催し、在住外国人が地域で直面している問題、受け入れる側である日本人の意識の問題、現在の制度や仕組みのあり方など、幅広い観点から議論を交わしてきたところである。

この議論を通し、当懇談会としては、次の三つの視点から意見を集約した。

第一に、現在、我が国においては、在住外国人の増加・定住化が進み、平成18年3月に「地域における多文化共生推進プラン」を策定し、多文化共生社会の推進に関する様々なプログラムを示した。しかしながら、それを実施するのはあくまで自治体であり、自治体がどのような地域づくりを目指すのか、外国人が置かれている状況や直面している課題に正面から向き合いながら、共に生きていくということはどういうことなのかについて絶えず問い直していくことが大切であること。

第二に、情報化、高度技術化が進んだ社会においても、在住外国人と日本人市民が地域を活性化させ、都市の発展を支えていく人材であることに変わりはなく、言葉や生活習慣が異なろうとも、コミュニケーションの重要性や日常の生活・活動を送る上での必要な情報の入手は不可欠である。そのためには、言葉やコミュニケーションの障壁をどのように払拭し、相互の理解をいかに深めていくかが、将来の持続的な発展に向けたまちづくりのカギを握っていくものであること。

第三に、外国人の人権と調和した観点からの対応の必要性である。法制度や財政上の制約等から多くの課題もあると思うが、個々の事情により市に在住する外国人に対するきめ細かな政策は自治体にしかできないのである。在住外国人の増加に伴う様々な課題は、好むと好まざるとにかかわらず必ず発生するものであることを認識する必要があること。

当懇談会は、このような基本認識のもと、市が国際化を推進していく上で重要と考える事項を次のとおりまとめたところであるが、市においては、この提言を踏まえ、市民・民間団体・教育機関等と連携しながらコーディネーターとして、各種の施策・事業を総合的・効果的に推進していくことを期待する。

最後に、新たな計画のもと、様々な事業を着実に実施することにより、すべての市民が、言葉や生活習慣の違いを超えて安心して生活し、また国際化に対応した都市の仕組みが整い、世界を視野に入れたまちづくりがなされることを切に願うものである。

2 基本的事項について

(1) 基本となる考え方と取り組みについて

宇都宮市が国際化を推進する上でのキーポイントとなる部分について、基本的考え方と取り組む上での留意点についてまとめたものである。

① 地域コミュニティについて

- ・ 新計画の中心となる多文化共生の地域づくりを進めるにあたっては、外国人と日本人相互の不安や懸念を払拭するとともに、地域の住民が外国人に対して心を開き、地域全体で積極的に受け入れるための体制づくりが欠かせない。現在、地域単位での活動は、近所付き合いや生活様式の変化などにより、コミュニティとしての連帯意識が衰退化する傾向にある。行政は、自治会や関係団体等と広く意見交換しながら、それらとの連携・協力を図り、地域のニーズに合った取り組みを展開していくことができるよう支援していく必要がある。
- ・ 在住外国人と共に活動を行うことができるようにするためには、日本人からの積極的なアプローチが欠かせない。そのためには、行政として地域リーダーやサポーターなどの人材を育成、支援していくことが必要である。
- ・ 在住外国人アンケートでは、65%の人が地域でさびしく心細い思いをしている。地域で孤独感や不安感を抱かせないことが、個人・地域の安全・安心を守る上での基本であり、日常的な声かけ、イベントへの参画、共同での諸活動の実施などを通して、地域で生活することが楽しく、生きがいを持った暮らしができるようにしていくことが大切である。

特に、地域活動に参加したいが、交流の機会や場がないという意見が多いことから、単なるお知らせではなく、実際的な交流の機会や場の充実を図っていくことが必要である。

② 安心・安全な生活について

- ・ 安心・安全な生活は、日本人・外国人ともに共通の願いである。身近な地域で多くのトラブルが生じる原因として、言葉以外にも、歴史・文化・仕組み等に由来する価値観や生活習慣の違いなどによることが多い。行政として、ゴミの出し方や騒音問題など日常生活上最低限守るべき基本的事項については、本市に外国人登録をする際に十分説明することが必要である。居住する地域においても、できるだけ住民同士で十分に話し合い、各国の習慣等を尊重した在住外国人とのルールづくりを行い、そのルールを双方が守り、後世に確実に伝えていくことが必要である。
- ・ また、在住外国人アンケートでは、災害時の対応等について分からないとの回答が多いため、様々な情報手段や集会等の機会を活用し、緊急避難時対策の周知が必要である。

③ 子どもへの教育について

- ・ 親の都合などで日本に来た子どもたちが、外観や生活習慣の違いなどでからかわれたり、授業等が理解できないため学校に馴染めないことに悩みを抱えている。
この子たちには、日本で暮らすからといって日本語教育や生活習慣だけを教えればいいわけではなく、母語の維持・活用や学力の保障がなされれば、将来、母国と日本の橋渡しをする貴重な人材、地域の国際化に貢献・活躍する有用な人材となり得るものであり、市は十分な教育投資をしていく必要がある。
- ・ 日本人の子どもに対しても、小さいうちから在住外国人と交流を深め、異なる文化や生活習慣への理解と尊敬の気持ちを持つことができる教育を行うことが大切である。身近な地域や学校における様々な活動を通して多文化共生を推進していくことが必要である。

④ ボランティアについて

- ・ 在住外国人が地域で生活し、活動するにあたり、様々な分野で活躍されているボランティアによる支援は極めて重要であり、欠かせないものとなっている。しかしながら、在住外国人の増加に伴う教育、福祉、医療、就業など多くの課題に対して、ボランティアに携わる人たちは少ない状況にある。行政は、ボランティアの現状を踏まえた上で、各地域で活動できるボランティアを育成し、その活動を支援していくことが大切である。
なお、ボランティア活動に携わっている人たちが継続的に活動することを支えるためには、手当の問題、活動内容・範囲の問題等について、例えばソーシャルビジネス化を図るなど十分な配慮が必要である。
- ・ また、ボランティア間においても、個々の在住外国人のニーズを踏まえた総合的な支援が展開できるよう、ネットワークを構築し、連携を図りながら実践していくことが望ましい。

⑤ 市民協働について

- ・ 実際に個々の活動を支えているのは一部の熱心な人たちであり、行政が協働という観点のもとで過重な負担をかけてはせっかくの活動をつぶすことになりかねない。行政は、役割分担をしたことで自らの役割が終わったということではなく、常に民間の活動を支えていくというスタンスを示す必要がある。
- ・ 民間団体の活動形態は、基本的にはテーマ型であることから、行政は、協働にあたっては、共助という考え方に立ち、各団体の活動範囲、力量等を踏まえた事業の仕組みや体制を構築していく必要がある。
- ・ 企業においては、外国人の能力発揮と雇用確保等に努め、国際化の推進や地域

の活性化に協力していくことが大切であり、行政もこうした企業に対し積極的に支援すべきである。

(2) 具体的な施策・事業等について

具体的な施策・事業の実施等にあたり、具体的な提言をまとめたものである。

① 多文化共生に関して

- ・ 在住外国人と日本人のコミュニケーションや相互理解の取り組みにあたっては、仲介者や協力者等の存在が大切であり、通訳制度やソーシャルコーディネーターなど新たな支援のための仕組みの創設をする必要がある。
- ・ 日本語が不自由な人に対する日本語教育については、交流拠点である国際交流プラザに限らず、地区市民センター等の身近な場所での実施や就業先の企業等への出前実施も必要であり、行政は、そうした活動が円滑に実施できる環境支援や、実施にあたっての広報等の側面支援をする必要がある。
- ・ 在住外国人向けの情報提供については、市政に関する情報ばかりでなく、例えば、病院での症状説明、犯罪遭遇時の状況説明、教育に関する相談など、生活する上で役立つ通訳用語集の作成などについても検討していく必要がある。
- ・ 多文化共生に理解があり、在住外国人と日本人の双方から信頼され、個人・地域・行政間の橋渡しができるリーダーとなる日本人および外国人の人材育成が最も重要である。そのためには、市が強いリーダーシップを発揮し、地域等と密接に連携を図っていくことが重要である。
- ・ 相談体制の充実は重要である。相談の窓口は、行政ばかりでなく、民間団体や個人でも行われており、今後、ソーシャルコーディネーターが設置され、また、専門家との連携も強化されれば、一層効果的であることから、こうした機能が十分に発揮できる仕組みづくりが必要である。
- ・ 多文化共生に関する意識啓発をする上で、出前講座の実施は地域にいい意味でインパクトを与える。出前講座をきっかけとして、地域が多文化共生の必要性を感じ、共感を持つことから地域における多文化共生が始まることから、積極的な地域展開を図る必要がある。

② 国際理解と国際交流に関して

- ・ 今後の姉妹都市締結、交流あるいは見直しにあたっては、民間の意見等も十分に踏まえ、行政は民間との橋渡しを行う必要がある。
- ・ 国際理解や交流を進めるためには、日本人が自らの地域の特色を知り、地域活動に参加することが前提となることから、行政は、日本人に対する意識啓発等を十分にすべきである。

③ 都市機能に関して

- ・ 安全安心の確保はすべての在住外国人に共通した対応が必要であるが、行政情報のパンフレットや観光案内板等における外国語表記は、行政として当該事業の実態やニーズ等に沿ったルールを作っていく必要がある。

④ 目標設定及び役割分担等に関して

- ・ 数値による目標値の達成は重要であるが、より重要なことは、各主体がどれだけ具体的な取り組みを行ったか、個々の市民や地域の満足感がどれだけ増加したか、またどこが不十分だったかなど、市民サイドからの生の評価に対して行政が十分に耳を傾けることである。
- ・ 国際化，多文化共生の推進にあたっては、個人でできることは個人で、個人でできないことは地域や団体で、地域や団体でできないことは行政で実施すべきであるが、行政はこうした取組が機能するように全体をコーディネートする役割があることを十分に認識する必要がある。
- ・ 事業の実施にあたっては、役割分担を基本としつつも、当該事業の性格により、行政が担った方がスムーズであるもの、宇都宮市国際交流協会をはじめとした民間団体が担った方が効果的であるものなどがあることから、弾力的な取り組みを実施すべきである。
- ・ 自治体が在住外国人に対して行う行政サービスの大半は、法律等に基づき、外国人登録をしている人を対象としているため、外国人登録をしていない人は、福祉，医療，教育等に関してのサービスが受けられないのが現状である。行政としては、住所変更の手続きも含め、外国人登録を積極的に促す努力をすべきである。

3 特記すべき事項

当懇談会としては、宇都宮市が真の多文化共生，国際都市として発展していくため、上記の提言以外に、喫緊の課題に関する事、セーフティネットに関する事等について意見を記したので、最大限の努力をお願いする。

- ・ 平成20年後半から景気が急速に悪化している現在、在住外国人の中には雇用や生存を脅かされている人や、経済的理由で就学することが困難になる子どもたちが確実に増えてきている。市においては、それらの支援体制について5年間の計画での対応とは別に、喫緊の課題としてその対応についても積極的配慮をお願いしたい。
- ・ やむを得ない事情等でいわゆる「不法滞在」している人もいる。「不法滞在者」に対して市が直接的な支援をすることは難しい。しかし、行政としても人権・人道上的観点から、人命に関わる問題や緊急性の高いセーフティネットにかかわる問題への対策

については、関係機関への要望や連携などを図り、解決に向けた迅速な対応をお願いしたい。また、様々な問題に直面している「不法滞在者」を支援している民間団体もあることから、行政がワンクッション置いた民間団体を通しての間接支援をする仕組みを検討する必要があると思われる。

- 市の施策としては限界があるにせよ、市民の安全・安心を守る基礎的自治体として、このまちに住んでいる人すべてが行政サービスの対象者であるという意識を忘れず、制度周知や情報の提供に取り組んで欲しい。
- 製造業が盛んである本市において、今後の労働人口の減少に伴い在住外国人の労働者がさらに増える可能性がある一方、こうした在住外国人は、企業の業績や景気によって真っ先に影響を受けやすい人たちである。多文化共生の地域づくりにあたっては、地域の活性化を担う一員としての企業を巻き込むとともに、企業の社会的責任が果たせるよう働きかけや仕掛けづくりなどについて積極的に取り組んで欲しい。
- 在住外国人に対して行政サービスを提供する市職員に対し、多文化共生に関する意識について研修等を十分に実施し、意識改革が進むよう努められたい。

以上

(3) 審議経過

日 時	審 議 経 過
平成20年 9月30日(火)	第1回(仮称)宇都宮市国際化推進計画策定懇談会 <ul style="list-style-type: none"> ・ 計画の策定について ・ 計画策定の考え方について ・ 現状と課題の整理について 等
平成20年10月31日(金)	第2回(仮称)宇都宮市国際化推進計画策定懇談会 <ul style="list-style-type: none"> ・ 計画の射程・基本認識にかかる意見交換 ・ 計画の基本方針について ・ 取組の方向, 施策の体系について 等
平成20年11月25日(火)	第3回(仮称)宇都宮市国際化推進計画策定懇談会 <ul style="list-style-type: none"> ・ 施策の体系について ・ 重点事業・リーディングプランについて ・ 計画の目標値について ・ 各主体の役割について 等
平成20年12月22日(月)	第4回(仮称)宇都宮市国際化推進計画策定懇談会 <ul style="list-style-type: none"> ・ 計画の推進体制について ・ 計画の素案について 等
平成21年 2月24日(火)	第5回(仮称)宇都宮市国際化推進計画策定懇談会 <ul style="list-style-type: none"> ・ 計画の素案について ・ 提言書について 等